

令和7年10月臨時会あいさつ

皆さまおはようございます。

本日ここに、久山町議会10月臨時会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

10月に入り、はや半月ほどがたちました。日中は真夏日になることもございますが、朝夕には涼しい風が吹き、また、町内では、たわわに実った稲穂の刈取りも順調に進み、いよいよ秋の訪れを感じられる時期となりました。

そのような中、国内においては、本年4月から、158の国と地域が一堂に会して始まった、大阪関西万博が、10月13日をもって閉幕しました。開幕前は予算や経済効果に対する批判を含め、ネガティブな意見が多かったこの万博ですが、184日間の来場者数は2,500万人を超え、運営収支は約230億円から280億円の黒字が見込まれています。ネットでは、「万博ロス」という言葉が話題となり、マスメディアにおいても、万博開催の成果が大きく取上げられています。これは、地元の行政、企業が連携し、批判に屈することなく、強い推進力を発揮したこと、さらに、開幕前の批判が逆に話題づくりとなり、開幕後の来訪者の体験のすばらしさが口コミで広がったことが大きな要因と言われています。

そしてすでにこの万博による有形・無形のレガシーを未来の社会・経済・文化にどう生かしていくかということへ、注目がシフトしています。私は今回の万博の流れは、これから久山町のまちづくりと共通する部分や発展に向けたヒントがあると感じています。

先人たちが培ってきた豊かな自然や地域性、道徳の心など、今ある本町のレガシーを次の世代、未来に伝えていくことを目的に、必要な要素や経済や文化、教育などのさまざまな政策に反映することで、町民の皆さんお一人おひとりが、そのよさを実感し、そして考え、未来に向

けて、その輪を広げ、行動していくことが重要です。

現在、国において政治は不安定な状況が続いていますが、今後の物価高騰対策、子育て支援策などへの動きを注視しながら、常に本町では、未来を見据えたまちづくりを念頭に置き、新体制を整えました議会の皆さまとともに強い推進力を持って、久山町独自のまちづくりに力を入れてまいり所存です。

議員の皆さまには、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今回、10月臨時会に提案いたしますのは、人事案件9議案でございます。詳細につきましては担当課長がご説明いたしますので、ご審議の上、可決いただきますようお願い申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。

令和7年10月15日

久山町長 西村 勝